

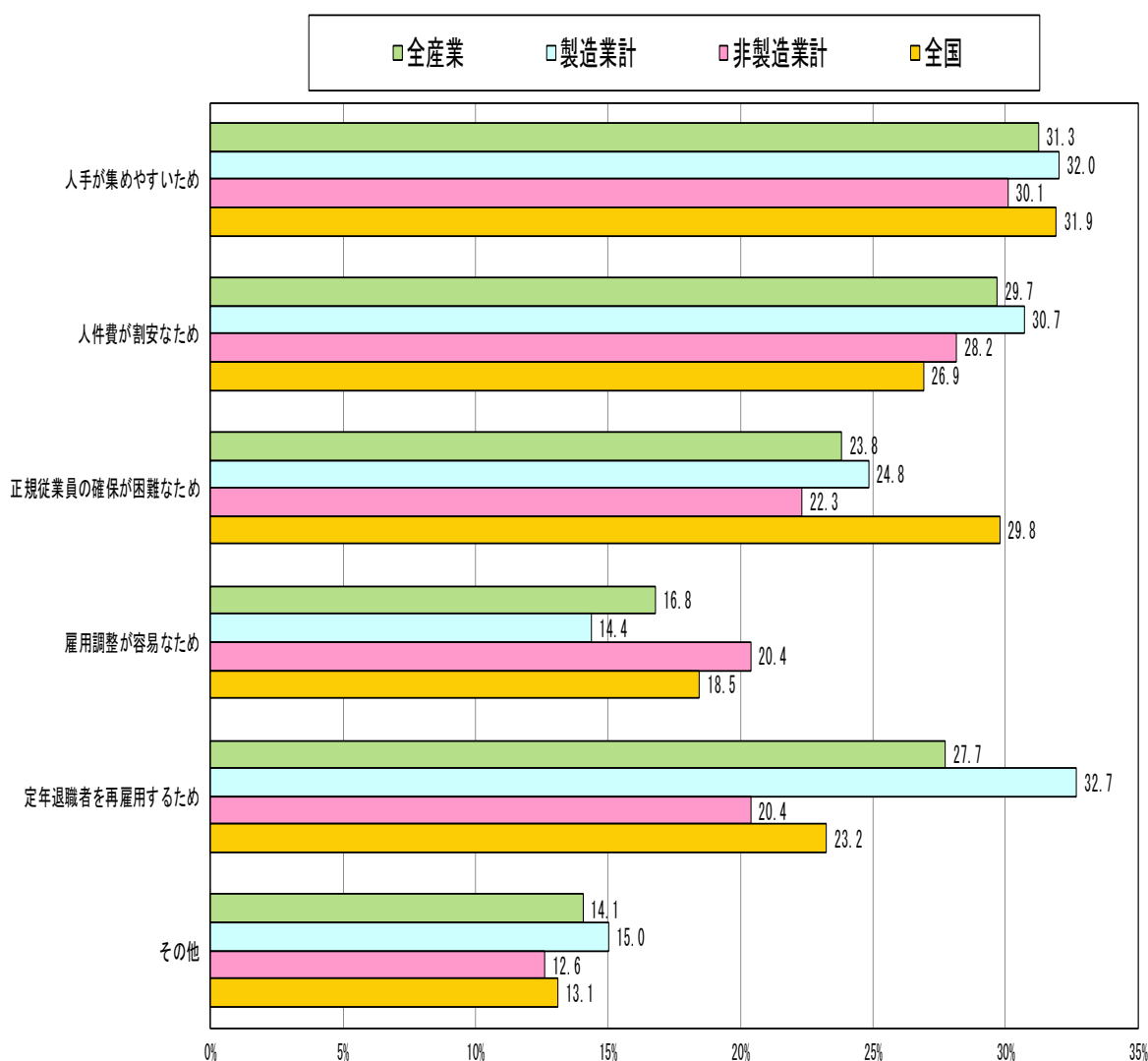
1.3. パートタイマーの雇用

①パートタイマーを採用した理由

パートタイマーを採用した理由について、全産業で「人手が集めやすいため」とする回答が31.3%と最も多く、以下「人件費が割安なため」が29.7%、「定年退職者を再雇用するため」が27.7%と続いている。

業種別では、「定年退職者を再雇用するため」が製造業計で32.7%、「人手が集めやすいため」が非製造業計で30.1%と最も多くなっている。

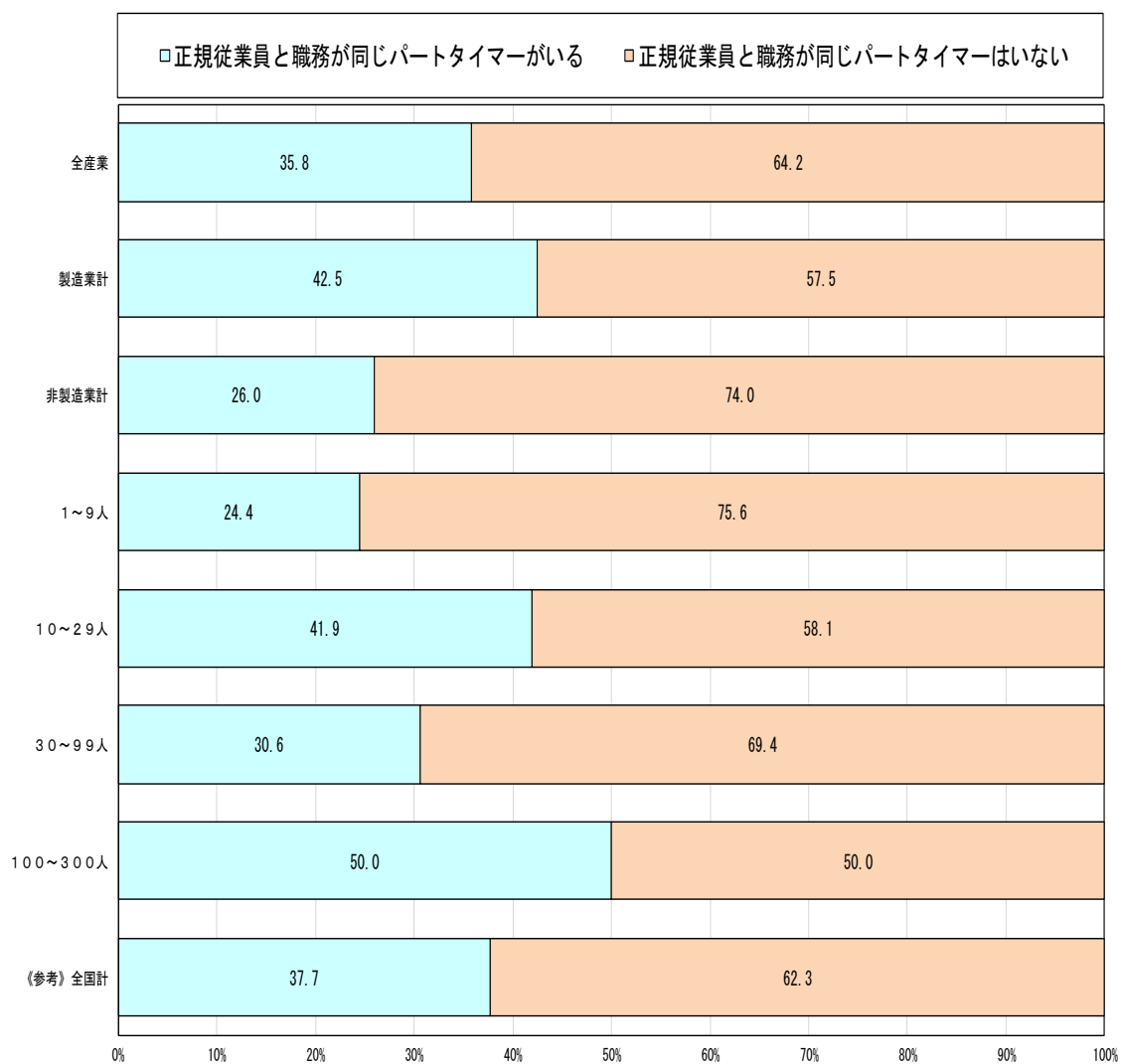
第30図表 パートタイマーを採用した理由（複数回答、業種別）



②正規従業員とパートタイマーの職務

正規従業員とパートタイマーの職務については、全産業で「正規従業員と職務が同じパートタイマーがいる」が35.8%、「正規従業員と職務が同じパートタイマーはいない」が64.2%となっている。

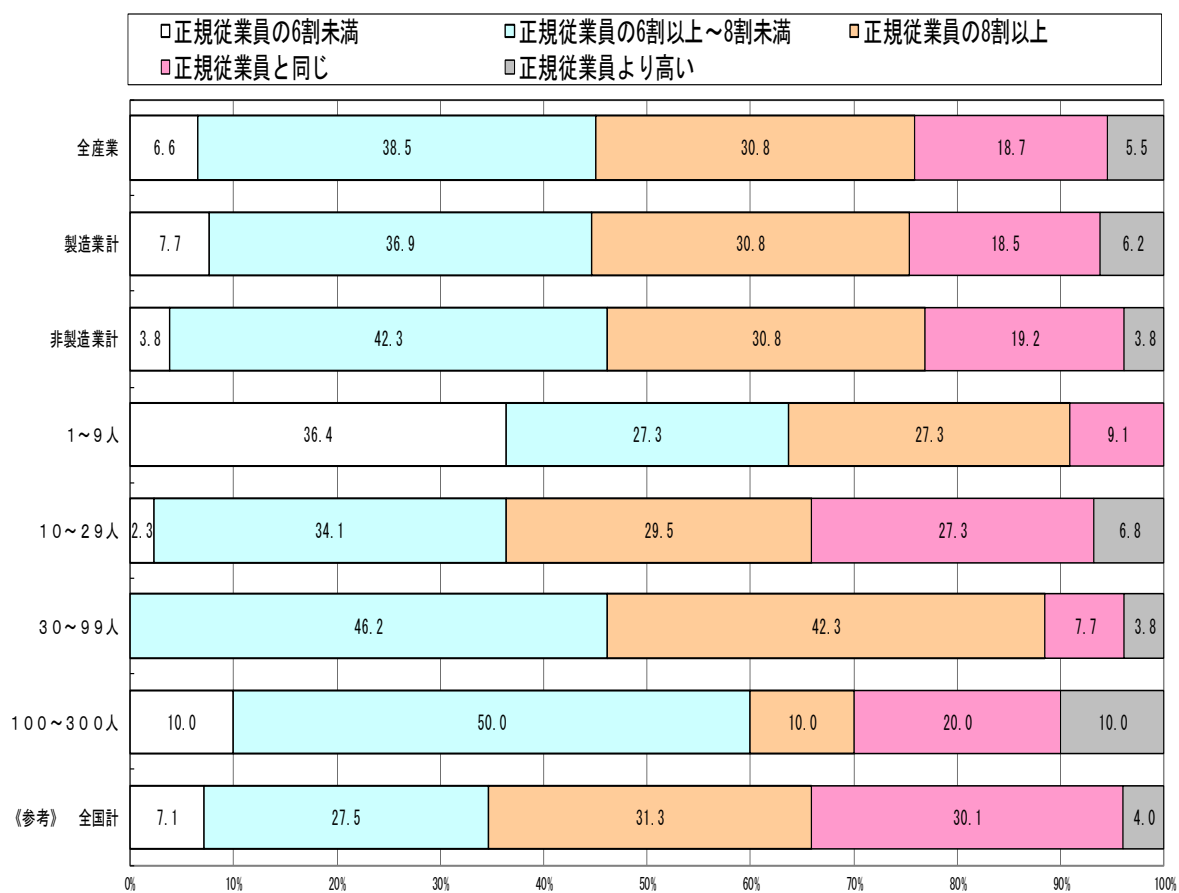
第31図表 正規従業員とパートタイマーの職務



③正規従業員との平均賃金の差

正規従業員との平均賃金の差について、全産業で「正規従業員の6割以上～8割未満」とする回答が38.5%と最も多く、以下「正規従業員の8割以上」が30.8%、「正規従業員と同じ」が18.7%、「正規従業員の6割未満」が6.6%、「正規従業員より高い」が5.5%と続いている。

第 32 図表 正規従業員との平均賃金の差

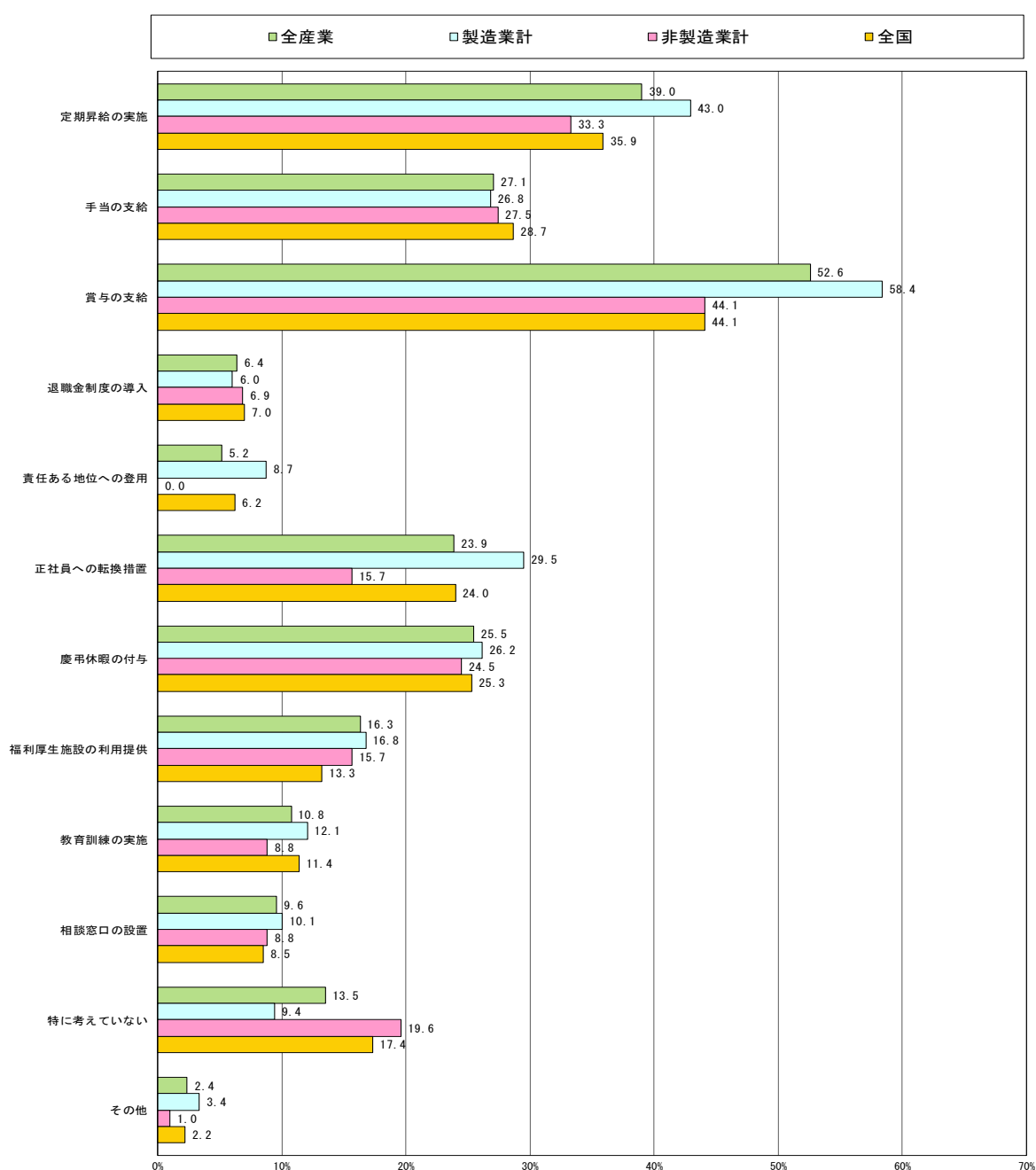


④待遇改善のために実施している方策

待遇改善のために実施している方策について、全産業で「賞与の支給」とする回答が52.6%と最も多く、以下「定期昇給の実施」が39.0%、「手当の支給」が27.1%と続いている。

業種別では、「賞与の支給」が製造業計で58.4%、非製造業計で44.1%とともに最も多くなっている。

第33図表 待遇改善のために実施している方策（複数回答、業種別）

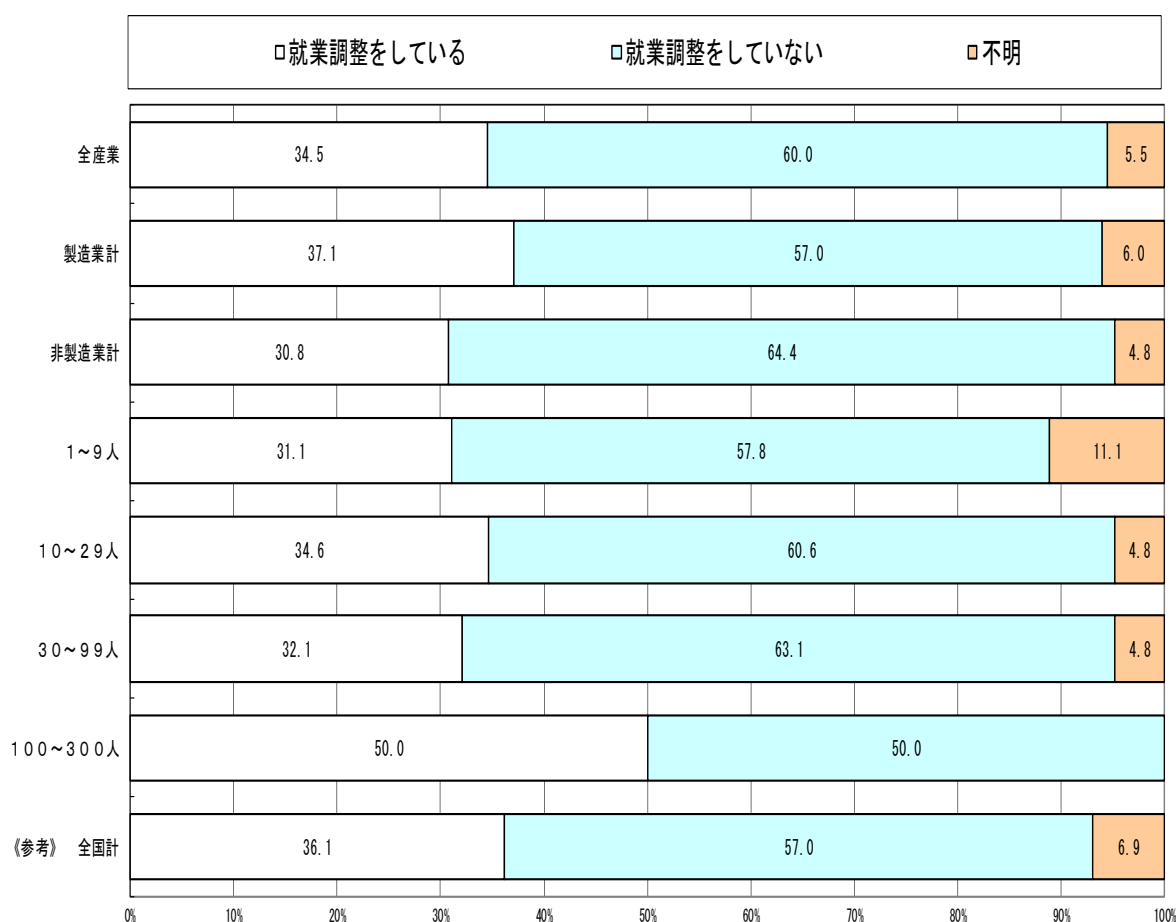


⑤パートタイマーの就業調整の状況

パートタイマーの就業調整の状況について、全産業で「就業調整をしていない」とする回答が60.0%と最も多く、以下「就業調整をしている」が34.5%、「不明」が5.5%と続いている。

業種別では、「就業調整をしていない」が製造業計で57.0%、非製造業計で64.4%とともに最も多くなっている。

第34図表 パートタイマーの就業調整の状況



⑥パートタイマーが就業調整をした理由

パートタイマーが就業調整をした理由について、全産業で「年収が103万円を超える」と所得税が発生するため」とする回答が54.5%と最も多く、以下「年収が130万円を超えると社会保険料が発生するため」が45.5%、「年収が103万円または130万円を超えると配偶者の企業の家族手当の対象外となるため」が21.6%と続いている。

業種別では、「年収が103万円を超えると所得税が発生するため」が製造業計で51.8%、非製造業計で59.4%とともにもっとも多くなっている。

第35図表 パートタイマーが就業調整をした理由（複数回答、業種別）

